

— 第百拾八号 —

(2012年夏号)

衣替え

6月は、衣替えのシーズンです。

しん窯青花工房は、6月1日はお休みです。

昔、朝鮮人陶工たちは、山のぼりと称してまちなかにある小高い観音山に登って、望郷の念にかられながら宴をはったそうです。中の原の八坂神社で茅の輪をくぐったりお祓いを受けたりして、町内外から集まります。自然と同窓会の日になりました。私たちが心身の衣替えをします。

工房内では、風対策寒さ対策のエアーカーテンが外されます。仕切りがとれて広く明るくなったような気分になります。スースーする時もあります。(風が通る、寒い意。)また、会社は5月末決算ですから6月がスタートです。また気持ちを新たにして、今期もやるぞーと引き締まります。

着る物だけでなく、様々な思いの衣替えもあります。



陶肌童人形 (すはだわらべにんぎょう)

待望の四季の童人形が完成しました。

私もまもなく68才を迎えます。昭和は遠くなりにはけりと思う今日この頃ですが、この童人形を見ていると、戦前戦中戦後の子供達の表情をほうふつとさせます。どんな時代が来ようとも、この頃の助け合い思いやりの心、ハイという素直な心をいつまでも持ち続けたいと思います。よく見ていると、澄んだ瞳に引き込まれていきそうです。

- 春 3月「紙ふうせん」・4月「1年生」・5月「かぶと」
夏 6月「雨上がり」・7月「海水浴」・8月「盆おどり」
秋 9月「いもっ子」・10月「秋まつり」・11月「やまびこ」
冬 12月「たこあげ」・1月「羽根つき」・2月「雪ん子」

一括200万円 1体20万円 (消費税別)



3月「紙ふうせん」



4月「1年生」



5月「かぶと」



6月「雨上がり」



7月「海水浴」



8月「盆おどり」



9月「いもっ子」



10月「秋まつり」



11月「やまびこ」



12月「たこあげ」



1月「羽根つき」



2月「雪ん子」

グルメイベント

グルメイベントプロデューサーに、しん窯梶原大敬、ぎやらりいふじ山藤山雷太君を指名しました。秋のミニ市に合わせた企画ですが、どんなイベントに展開するか楽しみです。

なぜグルメイベント？

佐賀県有田町は、旧西有田町と合併して有田焼と農産物の町になりました。400年という長い伝統に裏打ちされた美しい有田焼と、豊かな自然の中で育まれた新鮮な農産物を、グルメイベントの料理で組み合わせる初めての企画です。このグルメイベントによって有田焼、有田町の食材を広く日本全国、世界に発信していきたいと考えています。またシェフとして有田町出身のアメリカLAで活躍中の立部氏に調理して頂くというまたとない企画です。

嬉しいお便り

経営コンサルのTさんは、国の金融アドバイザーとして全国を回っておられます。もちろん、しん窯へも九州経済産業省の仕事でお見えになりました。

このほど嬉しいお手紙をいただきました。ご本人の許可を得られたので、紹介させていただきます。

我が家の夕食のご飯のお茶碗は昨春に貴地において買い求めさせていただきました品ですが、いつもお目にかかった時のことを思い出させてくれます。

さて、先週北海道の最北端に位置しています“礼文島”で、しん窯さんのコーヒーカップに出会いました。礼文島屈指のホテルである「花れぶん」でウエルカム・コーヒーをいただいたのですが、そのカップが何と貴社の品でした。昨年5月に初めてそちらにお邪魔した時に同道した同僚が礼文島でも一緒でしたが、彼が目ざとく見つけました。

「花れぶん」は私の大好きなホテルで、久保社長御夫妻とは大変懇意にさせていただいておりますが、久保さんによれば、10年ほど前に北海道の最北端より九州・有田の地まで行き、絵付け体験をして、気に入って購入されたとのことでした。

しん窯さんのコーヒーカップはお客さんを招くカップだそうで、久保さんの奥さん、すなわち「花れぶん」の女将ですが、によれば、道沿いのホテルの窓際にこのカップを飾っていたところ、「飾ってあったカップが気に入ったのですが、このカップでコーヒーが飲めますか？」とお客様がホテルの中に入ってこられたこともあったそうです。

とても嬉しい出来事でしたので、取り急ぎご報告申し上げます。

景況感の厳しい日々が続くとは存じますが、梶原社長様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

角君ラジオ出演 清々しい夏

FM佐世保で、認定伝統工芸士角康則（すみやすのり）（50才）が日頃の仕事ぶりを話しました。感涙したリスナーも多かったと聞きます。本人のコメントを紹介します。

「有田のおばやん」の愛称で佐世保FM「パワフルいろんころん」（毎週金曜、お昼12時より）の番組に出演されている吉岡千恵子さん（有田一番館店主）は、毎週金曜日に有田からいろんなゲストを連れて行き、有田のPRにも尽力されているパワフルな人！そんな吉岡さんから、5月11日（金）のゲストとして出演してもらえないか？との依頼がしん窯に入り、今回は社長の代理として私が出演させていただきました。

番組では、パーソナリティーの「さーや」と吉岡さんと3人でトーク。しん窯の歴史や工房、青花ブランドを紹介しながら、私自身がしん窯へ入社した理由、自分自身が作り出す「子供用食器」への深い思いやエピソードなどを交えながら、約1時間話をさせていただきました。笑いあり、涙ありでしたが、これまでの自分自身を振り返るいい機会になったと思います。

吉岡さん！出演依頼をいただき、本当にありがとうございました！

角 康則